

選考方法・評価について

AO入学試験(前期)

AO入学試験(前期)

	選考方法	評価方法	試験時間		持参物
			8/6(月)	8/7(火)	
環境デザイン学科	(1)志望理由書 (2)体験プログラム (3)面談 詳細はP.8を確認してください。	●左記選考項目を総合的に評価します。 ●体験プログラムで制作した作品は評価の対象とはしません。体験プログラムを通して、取り組む姿勢や、熱意・学習意欲を確認します。	空間体験プログラム 9:10 受付開始 9:50 集合完了 16:00 終了予定	模型体験プログラム 9:10 受付開始 9:50 集合完了 16:00 終了予定	・筆記用具一式 ・昼食
プロダクト・インテリアデザイン学科	(1)志望理由書 (2)体験プログラム (3)面談 (4)レポート 詳細はP.9を確認してください。		表現・制作プログラム 9:10 受付開始 9:40 集合完了 17:00 終了予定	アイデア・企画プログラム 9:10 受付開始 9:40 集合完了 17:00 終了予定	・筆記用具一式 ・昼食
ビジュアルデザイン学科	(1)志望理由書 (2)体験プログラム (3)面談 詳細はP.10を確認してください。		10:00 受付開始 10:45 集合完了 17:00 終了予定	9:10 受付開始 10:00 集合完了 13:00 面談開始 16:30 終了予定	・筆記用具一式 ・ハサミ ・カッターナイフ ・昼食
映像表現学科	(1)志望理由書 (2)体験プログラム (3)面談 (4)レポート 詳細はP.11、15を確認してください。		個人制作プログラム 9:10 受付開始 10:00 集合完了 17:00 終了予定	グループ制作プログラム 9:10 受付開始 10:00 集合完了 17:00 終了予定	8/6(月) ・鉛筆・色鉛筆 ・水性絵具道具一式 ・昼食 8/7(火) ・筆記道具一式 ・昼食
まんが表現学科	(1)志望理由書 (2)体験プログラム (3)面談 (4)レポート 詳細はP.12、15を確認してください。		9:10 受付開始 10:00 集合完了 17:00 終了予定	9:10 受付開始 10:00 集合完了 12:30 面談開始 面談終了・レポート提出後に順次解散 17:00 レポート提出締切	・作品 ・筆記用具一式 ・昼食
ファッションデザイン学科	(1)志望理由書 (2)体験プログラム (3)面談 詳細はP.13を確認してください。		表現・制作プログラム 9:10 受付開始 9:30 集合完了 17:00 終了予定	アイデア・企画プログラム 9:10 受付開始 9:30 集合完了 17:00 終了予定	・筆記用具一式 ・昼食
アート・クラフト学科	(1)志望理由書 (2)体験プログラム (3)面談 詳細はP.14を確認してください。		平面表現プログラム 9:10 受付開始 10:00 集合完了 16:30 終了予定	立体表現プログラム 9:10 受付開始 10:00 集合完了 16:30 終了予定	8/6(月) ・筆記用具一式 ・昼食 8/7(火) ・筆記用具一式 ・ハサミ ・カッターナイフ ・コンパス・定規 ・昼食

AO入学試験(後期)

	選考方法	評価方法	試験時間	持参物
			9/22(土)	
環境デザイン学科	(1) 志望理由書 (2) 課題 (3) 面談 詳細は P.8 を確認してください。	左記選考項目を総合的に評価し、熱意や学習意欲を確認します。	8:50 受付開始 9:40 集合完了 10:00 面談開始	・筆記用具一式
プロダクト・インテリアデザイン学科	(1) 志望理由書 (2) 課題 (3) 面談 詳細は P.9 を確認してください。			・筆記用具一式
ビジュアルデザイン学科	(1) 志望理由書 (2) 課題 (3点以上) (3) 面談 詳細は P.10 を確認してください。			・筆記用具一式
映像表現学科	(1) 志望理由書 (2) 持参作品 (3) 面談 詳細は P.11、15 を確認してください。			・筆記用具一式
まんが表現学科	(1) 志望理由書 (2) 面談 詳細は P.12、15 を確認してください。			・作品 ・筆記用具一式
ファッションデザイン学科	(1) 志望理由書 (2) 課題 (2点以上) (3) 面談 詳細は P.13 を確認してください。			・筆記用具一式
アート・クラフト学科	(1) 志望理由書 (2) 持参作品 (3点以上) (3) 面談 詳細は P.14 を確認してください。			・筆記用具一式

環境デザイン学科

選考方法

①志望理由書

志望動機などを 600 字以内で、自由に記述してください。

②体験プログラム

環境デザインに関する入門的なプログラム「空間体験プログラム」、「模型体験プログラム」のどちらかに取り組みます。エントリーの段階で必ずどちらかのプログラムを選択してください。

■空間体験プログラム 8月6日(月)

環境デザインに関する授業を受講した後に、授業から学んだことや感想等を 600 字程度で作文してもらいます。授業は、専門的な知識がなくても理解できるもので、建築やまちやランドスケープなどの空間を体験してもらいます。作文は、環境デザイン分野への学習意欲や姿勢を知るためのもので、面談のときの話題の材料にします。



授業風景

■模型体験プログラム 8月7日(火)

一人ひとりに誰にでも簡単に扱える単純な模型材料を与えます。作業の説明ののち、与えられたテーマにしたがって自由に材料を組み合わせる模型を作ります。このプログラムは専門的な知識や経験が無くても十分に理解し、取り組むことができる平易な内容です。なお、ここで作る作品は、受験生の作品づくりに対する意欲や姿勢を知るためのもので、面談時の話題の材料にします。



制作風景

③面談

複数教員による個人面談で、1人 15 分程度を予定しています。志望理由書の内容や、体験プログラムの内容にふれながら、受験生の皆さんが環境デザインの分野に抱いている関心や将来の夢、本学科のデザイン教育の特徴などを話題にします。面談を通じて、皆さんの学習意欲や将来性を見出します。

当日のスケジュール

8/6(月)・8/7(火)

9:50 集合(受付開始 9:10)
10:00 AO ガイダンス
10:10 体験プログラム
12:00 昼食
(各自持参してください)
13:20 面談諸注意の説明
13:30 個別面談(一人 15 分程度)
16:00 終了予定

選考方法

①志望理由書

志望動機などを 600 字以内で、自由に記述してください。

②課題

【= 持参作品・資料
(当日持参)】

【持参作品・資料】を、試験当日に持参してください。
持参作品・資料は、環境デザイン分野への関心や学習意欲をアピールするためのものです。
具体例としては、以下のようなものがあげられます。
・デッサン、立体造形作品、イラスト、模型などの作品
・クラブ活動や地域行事などで取り組んだことの成果品や活動の記録をまとめた資料
・興味を持った建物や風景について、調べたり感じたりした内容をまとめたレポート

③面談

複数教員による個人面談で、1人 20 分程度を予定しています。当日に持参した持参作品・資料をもとに、自己 PR してもらいます。面談では、自己 PR の内容に加え、志望理由書の内容や、受験生の皆さんが環境デザインの分野に抱いている関心や将来の夢、本学科のデザイン教育の特徴などを話題にします。面談を通じて、皆さんの学習意欲や将来性を見出します。

プロダクト・インテリアデザイン学科

選考方法

①志望理由書

志望動機などを 600 字以内で、自由に記述してください。

②体験プログラム

身近な生活用品をテーマにグループに分かれて、生活スタイルのデザイン提案を体験してもらいます。「表現・制作プログラム」、「アイデア・企画プログラム」のどちらかに取り組みます。エントリーの段階で必ずどちらかのプログラムを選択してください。

■表現・制作プログラム 8月6日(月)

身近な生活用品をテーマにグループに分かれて問題点を探し出し、使いやすいデザインを提案します。簡単な工作作業をしながら、モデルの制作体験してもらいます。工作作業を行いますので、当日は汚れてもよい服装を各自持参してください。



教員のアドバイス



制作風景



発表会

■アイデア・企画プログラム 8月7日(火)

地域社会や日常生活をテーマにグループに分かれて問題点を探し出し、ものづくりの視点から、新しい生活スタイルやワークショップ、イベントなどの企画を体験してもらいます。簡単な工作を行うこともありますので、当日は汚れてもよい服装を各自持参してください。



アイデア出し



制作風景



発表会

③面 談

複数教員による 1 人 15 分程度の個人面談を予定しています。双方向の個人面談により、お互いの理解を深めると同時に、受験生の学習意欲や可能性を見いだします。体験プログラムの感想等に加え、受験生の皆さんがプロダクト、インテリアという分野に対して抱いている関心や将来の夢などを話題に、理解を深めてもらう機会にします。自己 PR のための持参資料があれば持参してください。持参物がある場合は、面談時の資料とします。今まで体験したクラブ活動、趣味、地域のイベント、作成した作品、レポートなどがあれば持参してください。無くても問題はありません。

④レポート

体験プログラムを通してのレポートを作成してもらいます。レポート作成のために、いかに体験プログラムを有効活用できるかが重要になります。レポートのテーマは、体験プログラム中に提示します。

当日のスケジュール

8/6(月)・8/7(火)

9:40 集合 (受付開始 9:10)
9:45 AO ガイダンス
10:00 体験プログラム
12:00 昼食
(各自持参してください)
13:00 体験プログラム・面談
15:30 発表会
16:00 レポート作成
17:00 終了予定

前期

試験概要 (プロダクト・インテリアデザイン学科 前期／後期)

選考方法

①志望理由書

志望動機などを 600 字以内で、自由に記述してください。

②課題

【= 持参作品・資料】
(当日持参)

あなたが今までに体験したクラブ活動、趣味、地域のイベント、作成した作品、レポートなど、あなた自身の活動を取りまとめた資料や成果物を持参してください。

※上記の成果物がない場合は「テーマレポート」の作成でも構いません。

テーマ内容：身の回りではあなたが興味を持っている具体的な製品や家具などを一点選択し、その製品の『魅力』と『改善できる点』について A3 用紙 3 枚以内で説明してもらいます。

③面 談

複数教員による、1 人 20 分程度を予定しています。個人面談を通して、教員と受験生の皆さんとの双方向の理解を深め、受験生の皆さんの学習意欲や可能性を見いだすことを目的としています。当日持参した課題をもとに自己 PR してもらったうえで、受験生の皆さんがプロダクト、インテリアという分野に対して抱いている関心や将来の夢などを話題に、理解を深めてもらう機会にします。

後期

ビジュアルデザイン学科

選考方法

①志望理由書

志望動機などを 600 字以内で、自由に記述してください。

②体験プログラム

〔さまざまな素材のコラージュや着色〕
グループ (5 名程度) ごとにテーマを決め、その後個人で、さまざまな素材をコラージュしたり着色したりして、課題に沿った作品を制作します。とくに難しい技術は必要としません。
また、体験プログラムをもとにレポートを提出してもらいます。レポートの課題は面談開始時に提示しますので、面談待ち時間、面談終了後に書いて退出時に提出してもらいます。



グループでテーマを相談



グループテーマに沿って制作



グループ発表会



制作風景



制作風景

③面 談

2 日目の 13:00 ~ 16:30 の間で、複数教員による 1 人 15 分程度の個人面談をおこないます。教員との個人面談を通してデザインや学習に対する意欲や可能性を見いだすことを目的としています。
面談の際には、自分をアピールできる効果的な PR 資料があれば持参してください (作品に限らず、どのような形式のものでもかまいません)。

当日のスケジュール

8/6(月)

10:45 集合 (受付開始 10:00)
体験プログラムガイダンス
体験プログラム (制作)
12:00 昼食
(各自持参してください)
13:00 体験プログラム (制作)
17:00 終了予定

8/7(火)

10:00 集合 (受付開始 9:10)
体験プログラム (講評会)
12:00 昼食
(各自持参してください)
12:45 集合
面談・レポート課題提示
16:30 面談終了後、レポート提出
終了予定

選考方法

①志望理由書

志望動機などを 600 字以内で、自由に記述してください。

②課題(当日持参)

当日試験会場に持参する「課題」も評価の対象になります。デッサン、イラストレーション、絵画、写真など平面・立体を問わず、幅広くビジュアル作品と思うものを 3 点以上 持参してください。

③面 談

複数教員による 1 人 15 分程度の個人面談をおこないます。教員との個人面談を通して、デザインや学習に対する意欲や可能性を見いだすことを目的としています。
自分をアピールできる効果的な PR 資料があれば持参してください。(作品に限らず、どのような形式のものでもかまいません)

映像表現学科 デジタルクリエイションコース／映画コース／アニメーションコース

選考方法

①志望理由書

志望動機などを 600 字以内で、自由に記述してください。

②体験プログラム

映像表現に関する入門的なプログラム「個人制作プログラム」、「グループ制作プログラム」のどちらかに取り組みます。エントリーの段階で必ずどちらかのプログラムを選択してください。

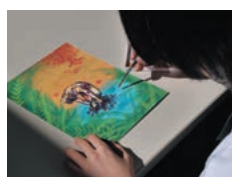
■個人制作プログラム 8月6日(月)

〔セルフポートレート〕

鉛筆デッサン、色鉛筆、絵の具等を用いて手描きで自身を描いてもらいます。(※映画コースのみ写真やこちらで用意する資料によるコラージュも可) 単純に容姿を写すのではなく、自らと客観的に向き合い分析することが大切です。午後より、スクリーンを用いて発表してもらいます。個人による制作作業です。



AO ガイダンス



制作風景



発表会

■グループ制作プログラム 8月7日(火)

〔物語を構成〕

提示されたスチル写真、イラスト等の各種イメージ 20 点あまりから 4 点を選択し、物語を構成します。午後より、その物語をスクリーンを用い演出を加えて発表します。4 ～ 5 名のグループに分かれての作業です。



グループ討議



制作風景



グループ発表会

③面 談

複数教員による 1 人 15 分程度の個人面談を行います。体験プログラムでの内容をもとに、面談を行います。まずは、体験プログラムでの印象や感想を述べてください。そうした会話をきっかけに、お互いの理解を深めるとともに、本人の適性や意欲、秘められた可能性などを見いだすことを目的とします。面談の際には、自分の個性や得意な事柄をアピールできる作品や取り組みの記録を、現物、あるいはポートフォリオや映像などの形にまとめて、可能な限り多数持参してください。作品については、P.15 で確認してください。

④レポート

両日とも午後からは面談ですが、順番がくるまでの時間、または、面談後の時間を有効に使うって体験プログラムについてのレポートを作成し、提出してもらいます。

当日のスケジュール

8/6(月)・8/7(火)

10:00 集合 (受付開始 9:10)
10:10 AO ガイダンス
10:20 体験プログラム
12:00 昼食
(各自持参してください)
13:00 発表会・講評
14:15 面談・レポート課題
17:00 レポート提出
終了予定

試験概要 (映像表現学科 前期／後期)

前
期

選考方法

①志望理由書

志望動機などを 600 字以内で、自由に記述してください。

②持参作品

自分の個性や得意な事柄をアピールできる作品や取り組みの記録を、現物、あるいはポートフォリオや映像などの形にまとめて、可能な限り多数持参してください。作品については、P.15 で確認してください。

③面 談

複数教員による 1 人 15 分程度の個人面談を行います。教員と受験生、お互いの理解を深めるとともに、本人の適性や意欲、秘められた可能性などを見いだすことを目的とします。

後
期

まんが表現学科

選考方法

①志望理由書

志望動機などを 600 字以内で、自由に記述してください。

②体験プログラム

〔まんがに挑戦する〕

まんが表現学科の「講義・課題」を体験するプログラムです。講義で内容をきちんと理解したうえで、課題となるまんが制作に取り組むという流れを実感してもらいます。ペン入れや仕上げなど専門的な知識、技術は必要ありません。あなたの基礎力や発想力を試すプログラムです。グループ分けしますが、個人の制作が中心となります。



AO ガイダンス



制作風景



制作風景



発表会

③面 談

複数教員による 1 人 15 分程度の個人面談を行います。まずは、体験プログラムでの印象や感想を述べてください。そうした会話をきっかけに、お互いの理解を深めるとともに、本人の適性や意欲、秘められた可能性などを見いだすことを目的とします。面談の際には、面談資料として作品の持参が必要となります。作品については、P.15 で確認してください。

④レポート

体験プログラムをもとにレポートを翌日(2 日目)に提出してもらいます。レポートは 2 日目の面談終了後 17:00 までに提出することになります。面談待ち時間、面談終了後の時間を有効に使ってレポートを作成してもらいます。

当日のスケジュール

8/6(月)

10:00 集合(受付開始 9:10)
10:10 AO ガイダンス
10:30 体験プログラム
12:00 昼食
(各自持参してください)
13:00 体験プログラム
17:00 終了予定

8/7(火)

10:00 集合(受付開始 9:10)
10:10 体験プログラム講評
11:30 昼食
(各自持参してください)
12:30 面談
16:00 面談終了予定
17:00 レポート提出締め切り

選考方法

①志望理由書

志望動機などを 600 字以内で、自由に記述してください。

②面 談

複数教員による 1 人 15 分程度の個人面談を行います。持参した作品を通して教員と受験生、お互いの理解を深めるとともに、本人の適性や意欲、秘められた可能性などを見いだすことを目的とします。面談資料として、作品の持参が必要です。作品については、P.15 で確認してください。

ファッションデザイン学科

選考方法

①志望理由書

志望動機などを 600 字以内で、自由に記述してください。

②体験プログラム

ファッションデザインに関する入門的なプログラム「表現・制作プログラム」、「アイデア・企画プログラム」のどちらかに取り組みます。エントリーの段階で必ずどちらかのプログラムを選択してください。

■表現・制作プログラム 8月6日(月)

各自が設定したテーマに基づいて、1/2 サイズのボディに立体造形をします。用意された布やボタンなどを用いて、衣装を制作します。複数の素材を組み合わせることで生まれる造形表現の可能性や素材の持つ特性などについて理解を深めます。教員とコミュニケーションを図りながら各自で制作を行います。最後は、完成した作品にタイトルをつけて、制作意図について全体で発表を行います。



1/2 ボディ・素材



制作風景



教員のアドバイス



完成作品

■アイデア・企画プログラム 8月7日(火)

テーマに基づいて、グループに分かれてディスカッションを行い、スタイリングを提案するボードを作成します。用意された雑誌を使って、メンズ、またはレディースのスタイリングについて画面構成を行います。教員や同じグループの人たちとコミュニケーションを図りながら各自で制作を行います。最後は、完成した作品にタイトルをつけて制作意図について発表を行います。



教員のアドバイス



制作風景



完成作品



発表会

③面 談

面談は、午後の発表会后、個別に実施します。複数教員による、1人15分程度を予定しています。個人面談により、教員と受験生とのお互いの理解を深め、学習意欲や可能性を見出すことを目的としています。面談時には、自分をアピールできる効果的な PR 資料があれば持参してください。(作品に限らず、活動報告書など、どのような形式のものでもかまいません。)

当日のスケジュール

8/6(月)・8/7(火)

9:30 集合(受付開始 9:10)
体験プログラム
12:30 昼食
(各自持参してください)
13:30 発表会
15:00 面談
17:00 終了予定

試験概要 (ファッションデザイン学科 前期/後期)

選考方法

①志望理由書

志望動機などを 600 字以内で、自由に記述してください。

②課題(当日持参)

課題は、当日試験会場に持参する作品及び資料です。作品は、鉛筆デッサンに限らず幅広くファッション作品と思うものを 2 点以上持参してください。持参課題は受験生本人が、3 ヶ月以内に作成したものに限ります。

③面 談

複数教員による 1 人 20 分程度を予定しています。個人面談により、教員と受験生とのお互いの理解を深め、当日、持参した課題の説明をもとに学習意欲や可能性を見いだすことを目的としています。自分をアピールできる効果的な PR 資料があれば持参してください。資料は、作品に限らず活動報告書など、どのような形式のものでもかまいません。

アート・クラフト学科

選考方法

①志望理由書

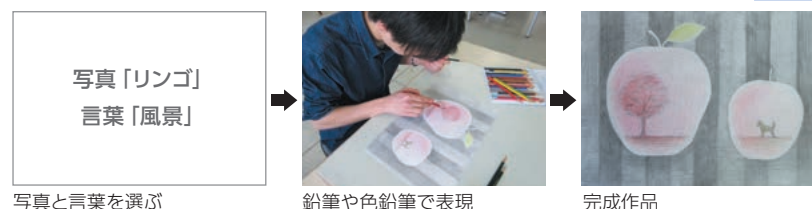
志望動機などを 600 字以内で、自由に記述してください。

②体験プログラム

アートやクラフトに関する入門的なプログラム「平面表現プログラム」、「立体表現プログラム」のどちらかに取り組みます。エントリーの段階で必ずどちらかのプログラムを選択してください。

■平面表現プログラム 8月6日(月)

与えられた写真(例:動物、植物、自動車など)と言葉(例:風景、思い出、季節など)からそれぞれ一つずつ選び、その写真と言葉から発想してケント紙に鉛筆や色鉛筆で平面表現します。このプログラムでは、教員に相談したり、アドバイスを受けることができます。作品が完成したら、題名と制作意図を用紙に記入します。最後に、全員の作品を並べて、講評会を行います。



■立体表現プログラム 8月7日(火)

与えられたテーマ(例:私の仮面、私の帽子など)から発想して、ケント紙、色画用紙、アルミホイルなど、複数の素材を組み合わせて立体表現します。このプログラムでは、教員に相談したり、アドバイスを受けることができます。作品が完成したら、題名と制作意図を用紙に記入します。最後に、全員の作品を並べて、講評会を行います。



③面談

複数教員による1人15分の個人面談を行います。受験生と教員の相互理解を深めるとともに、美術やクラフトに対する意欲や可能性を見出すことを目的としています。主な面談の内容は、体験プログラムの感想、美術やクラフトに関すること、将来の目標などです。

当日のスケジュール

8/6(月)・8/7(火)

10:00 集合(受付開始 9:10)
AO ガイダンス
10:10 課題説明
10:30 体験プログラム
12:00 昼食
(各自持参してください)
13:00 面談・体験プログラム
16:00 講評会
16:30 終了予定

選考方法

①志望理由書

志望動機などを 600 字以内で、自由に記述してください。

②持参作品

持参作品は、試験当日に試験会場に持ってくる作品です。必ず3点以上持参してください。作品は、絵画、デッサン、イラスト、彫刻、フィギュア、陶芸、ガラス、金工、デザイン、写真など「受験生本人が制作した実物」、またはそれらの写真をまとめた「作品ファイル」です。文化祭や展覧会など、文化イベントの企画運営に参加した人は、その「資料ファイル」なども可とします。

③面談

複数教員による1人20分程度の個人面談を行います。受験生と教員の相互理解を深めるとともに、美術やクラフトに対する意欲や可能性を見いだすことを目的としています。主な面談の内容は、持参作品に関すること、美術やクラフトに関すること、将来の目標などです。

映像表現学科（前期／後期）共通

自分の個性や得意な事柄をアピールできる作品や取り組みの記録を、現物、あるいはポートフォリオや映像などの形にまとめて、可能な限り多数持参してください。

- ◆デジタルクリエーションコース：作品や取り組みの範囲は限定しません。
- ◆映画コース：作品や取り組みの範囲は限定しません。
- ◆アニメーションコース：主として「模写」「デッサン」「透視図」などの絵を見せてください。
ノートの隅に描いた落書きのようなものでもかまいません。

- * 1：映像作品を持参する場合は、パソコン・スマートフォン等の再生装置もあわせて用意してください。
また映像作品は、限られた面談時間内に提示できるようにしてください。
- * 2：各種検定・資格、競技の成果を示す証明書がある場合は持参してください。

まんが表現学科（前期／後期）共通

- ◆面談の際には必ず作品の持参が必要です。描いたものは捨てずにファイリングして見やすいように整理をしておいてください。
- ◆自分をPRする作品であれば、絵画、イラスト、まんが作品（未完成のものでも大丈夫です）、その他何でもかまいません。
日頃、自由に絵やイラストを描いている「落書きノート」や「スケッチブック」を必ず持参してください。
- ◆これまで描いてきた「落書きノート」「スケッチブック」が何冊もある方はここ数年のものを中心になるべく多く持参してください。
- ◆好きなまんがのキャラクターやイラストなど、描いてある中身は問いません。
- ◆「スケッチブック」「落書きノート」を見たい理由は入試では見られないみなさんの可能性を探すためです。恥ずかしがらないで、これは入試向きかそうでないかなどと自分で判断せず、日頃描いている「落書き」をなるべくたくさん持ってきてください。

- * デジタルでまんが・イラストを描いている場合は、出力した作品を持参するか、記録媒体（USBメモリを推奨します）に作品を記録して持ってきてください。
iPadなどのタブレットに記録して持参してもらってもかまいません。

